-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、東京女子医科大学附属足立医療センター外科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] GLIM 基準による低栄養が胃癌根治切除術後の長期成績に及ぼす影響について

[研究対象者]

2015年5月から2019年9月の間に東京女子医科大学東医療センター（現足立医療センター）外科で根治的胃切除術受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名

栄養状態評価：身長、体重、BMI、体重/食事摂取量の変動

検査結果：血液検査（血清アルブミン値、CRP 値、総コレステロール値、血液分画（リンパ球数、好中球数、単球数)、血小板)、画像検査（単純ＣＴ検査（骨格筋量、内臓脂肪面積、皮下脂肪面積））

病理組織学的所見: 最大腫瘍径、癌の占拠部位、切除断端病理組織学的所見、 リンパ節郭清の個数、癌の深達度、リンパ節転移の有無、 癌の進行度分類

術後経過：手術時間、 手術時の出血量、 手術後退院までの期間、 術後合併症の有無と内容

化学療法：種類、施行期間、有害事象（食欲不振、下痢、好中球減少、貧血など）

予後：全生存期間、3 年全生存率、5 年全生存率, 無病生存率, 無増悪生存率

再発・二次癌・晩期障害などの長期イベントの把握

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

世界的低栄養の診断基準であるGLIM (Global Leadership Initiative on Malnutrition)基準による低栄養が切除胃癌の長期成績に及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。

[利用期間] 倫理審査委員会承認後より2027年12月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、どなたのものなのかわからないように安全管理措置（匿名化）をしたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者:東京女子医科大学附属 足立医療センター外科 助教 西口遼平

研究内容の問い合わせ担当者:東京女子医科大学附属 足立医療センター外科 助教 西口遼平

電話：03-3857-0111 （内線31198） （応対可能時間：平日9 時～16 時）

ファックス：03-3894-5493 Eメール： ryohei.nishiguchi@twmu.ac.jp